

データ利活用で加速させる 地域活性化のエコサイクル



NPO法人コミュニティリンク

理事 榊原 貴倫

オープンデータ、オープンガバナンス 推進事業を弊社が取り組む理由

【まちづくりを仕事（市場）に】

- まちに興味を持ってほしい！
- 共に、しあわせに生活できるまちを守る！

【大事なこと】

下請けではなく、共に創るといふ、フラットな関係
づくり



神戸市とのオープンデータ推進のこれまで

2013年

先進取り組み先調査

- ・ 鯖江
- ・ サンフランシスコ（ニューヨーク、ロンドン）
- ・ 兵庫県 & 弊社

2014年

・ 神戸市オープンデータ一覧ページ公開（広報課）

- ・ Code for Kobe 発足

2015年

・ 企画調整局情報化推進部ICT創造担当 始動

・ 市長サンフランシスコ出張

- ・ シティイノベートサミット 2015
- ・ CodeforAmerica 訪問
- ・ 500Startups 訪問 など

2016年

- ・ カタログサイト開設
- ・ データアカデミー開催
- ・ 神戸市版5374共創

共感者
理解者

協働作戦・企画
チームビルディング

スモールスタート
プロトタイピング

実装
展開・拡大



新しい取組に対しての
抵抗感を和らげる
プロトタイピング事例

まずは小さくプロトタイプ 神戸市でのオープンデータ活用の取り組み ～5374神戸版が産まれるまで～

2015年1月神戸市環境局より
アプリ開発質問依頼

弊社設置の5374と環境局のデータをオープンデータとして公開した
サービスを提案

オープンデータを理解してもらった
ための、説明回り

追加機能要望と
オープンデータ運用業務創り

業務課保有情報

資源課保有情報

データの標準化
共通運用に

ごみ品目別収集区分一覧

品目	収集区分	収集曜日	収集時間
可燃物	1	月	18時～21時
資源物	2	水	18時～21時
燃やさない物	3	木	18時～21時
資源物	4	金	18時～21時
燃やさない物	5	土	18時～21時
資源物	6	日	18時～21時
燃やさない物	7	月	18時～21時
資源物	8	水	18時～21時
燃やさない物	9	木	18時～21時
資源物	10	金	18時～21時
燃やさない物	11	土	18時～21時
資源物	12	日	18時～21時

ごみの排出区分、排出曜日、住所地

住所	排出区分	排出曜日
神戸市中央区	1	月
神戸市東灘区	2	水
神戸市西区	3	木
神戸市灘区	4	金
神戸市北灘区	5	土
神戸市東灘区	6	日
神戸市中央区	7	月
神戸市東灘区	8	水
神戸市西区	9	木
神戸市灘区	10	金
神戸市北灘区	11	土
神戸市東灘区	12	日

神戸市からのお知らせ

資源集団回収情報

ごみ分別検索

ごみ収集日

お知らせ

資源集団回収

アプリ本
体開発費
消滅

多言語翻訳費

オープンデータとして
翻訳データを調達



オープンデータ、データを活用した
業務への進化を担当者が庁内共有



展開・拡大



**DATA
ACADEMY**
データアカデミー

データアカデミーの学びは サンフランシスコ市のオープンデータ 推進の取り組み事例から



DataSF

DATA CATALOG SHOWCASE PUBLISHING ACADEMY RESOURCES BLOG

Data Academy

A training program for City and County of San Francisco staff

Welcome to the City and County of San Francisco's Data Academy! Our goal is to help analysts explore, refine, and enhance their skills in data analysis and visualization. We also offer classes for those hoping to increase their comfort working with data. We offer a series of classroom based courses detailed below and have also curated a list of courses offered by other institutions for free or at cost.

Course Catalog

Topics

- All courses
- Analysis
- Information Design
- Data Management
- Data Visualization
- Excel
- Tableau

The Data Academy is produced in partnership with the Controller's Office.

Sign up to learn more
You must sign up with an email

Tableau Certification Preview

This classroom based workshop is the first in a series of workshops on Tableau offered by the Data Academy. Our goal is to familiarize you with the Tableau Qualified Associate Certification. We will provide quick tips on how to tackle the two hour certification exam and apply them to sample problems together.

Lean 101 - One day to better government

Have you ever wanted to change the way your workplace operates but didn't know where to begin? With you could clear the obstacles in your daily work or reduce bureaucracy for your customers? The Twin Peaks team trains and coaches people at all levels to rapidly improve the work they do every day.

Leveraging the Open Data Portal

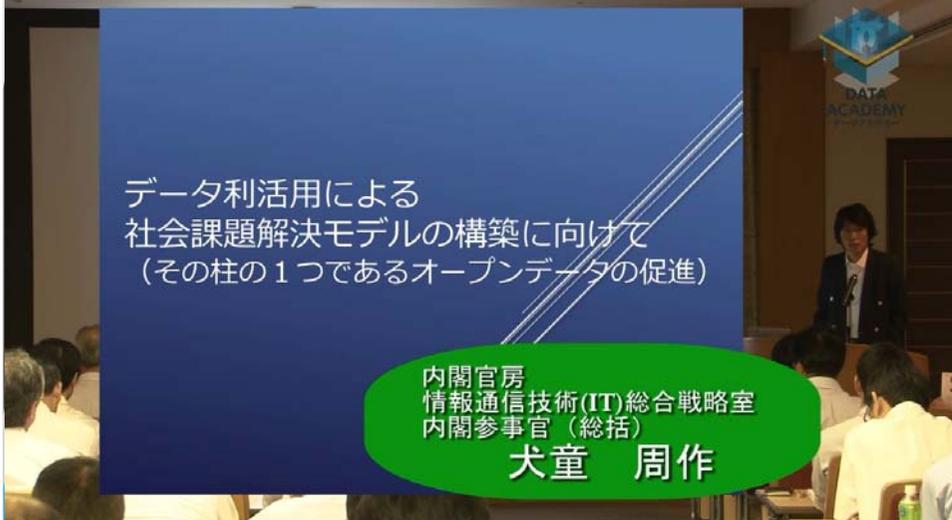


Jason Lally, Instructor
Data Academy Course
March 24, 2016
9:30 AM

参照：<https://datasf.org/academy/>

日本版データアカデミーの狙いβ版

- STEP1: データ利活用への理解
- STEP2～3: データ分析、可視化手法の学び
- STEP2～3: デザイン思考、論理的思考の学び
- STEP4: データドリブンの価値への気づき
- STEP5: 必要データの動的な管理業務へ変革
- STEP6: 全市的な議論の高度化



神戸版データアカデミー概要

【プロジェクト期間】2016年6月~2017年3月

【コンテンツ】

全課長級研修 全3種

職員向けセミナー及びワークショップ 全2種各4回 開催中

市民参加型WS 全1回 1~2月開催予定

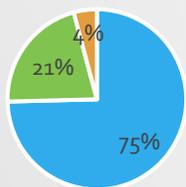
【ワークショップ対象人材】

行政職給料表2級~5級相当職の適用を受ける職員

※望ましいのは係長クラス、事業を主担当し前向きに活動できる人

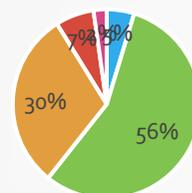
全課長級セミナー 事前事後アンケート

講座を受ける前のデータの
利活用状況



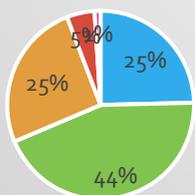
- 取り組んでいない
- 少し取り組んでいる
- 取り組んでいる

講座を受けた後のデータの
利活用について



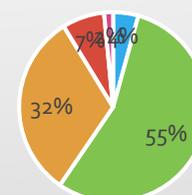
- 興味がある
- 少し興味がある
- とても興味がある
- 実際に取り組みたい

講座を受ける前のオープンデータの
理解度



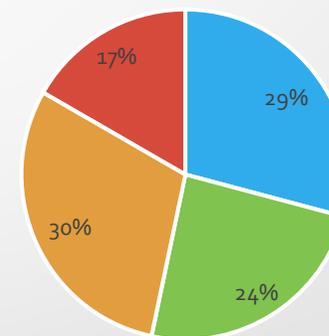
- 知らない
- 名前を知っている
- 少し理解している
- 理解している
- 既に取り組んでいる

講座を受けた後のオープンデータの
利活用



- 興味がある
- 少し興味がある
- とても興味がある
- 実際に取り組みたい

実践を阻む最大の課題



- データ人材がない
- 業務が忙しく時間が無い
- 進め方がわからない
- 活かせる業務がない

データアカデミーで 取組む『ネタ』は対象自治体の 現状の課題が良さそうです

- 課題を把握するためのデータ分析

例えば、保険料の増加が課題に挙がっている場合、将来の保険料がどこまで上がるかの把握のための、市民基礎情報、健康情報、などの課をまたがる情報をどのように集めるかからスタート

- 市民サービスの向上

例えば、窓口サービスのコンシェルジュが総合的な要件を聞き、市民へ2重質問やたらいまわしと思わせない導線で誘導できないか？などの既存と目標に向けた業務改革のデザイン

- 紙文化、引継ぎの弱さ解消

例えば、業務日報をまとめるフォーマットを作成、データとして管理するための効果的な正規化を考える。

課題や期待

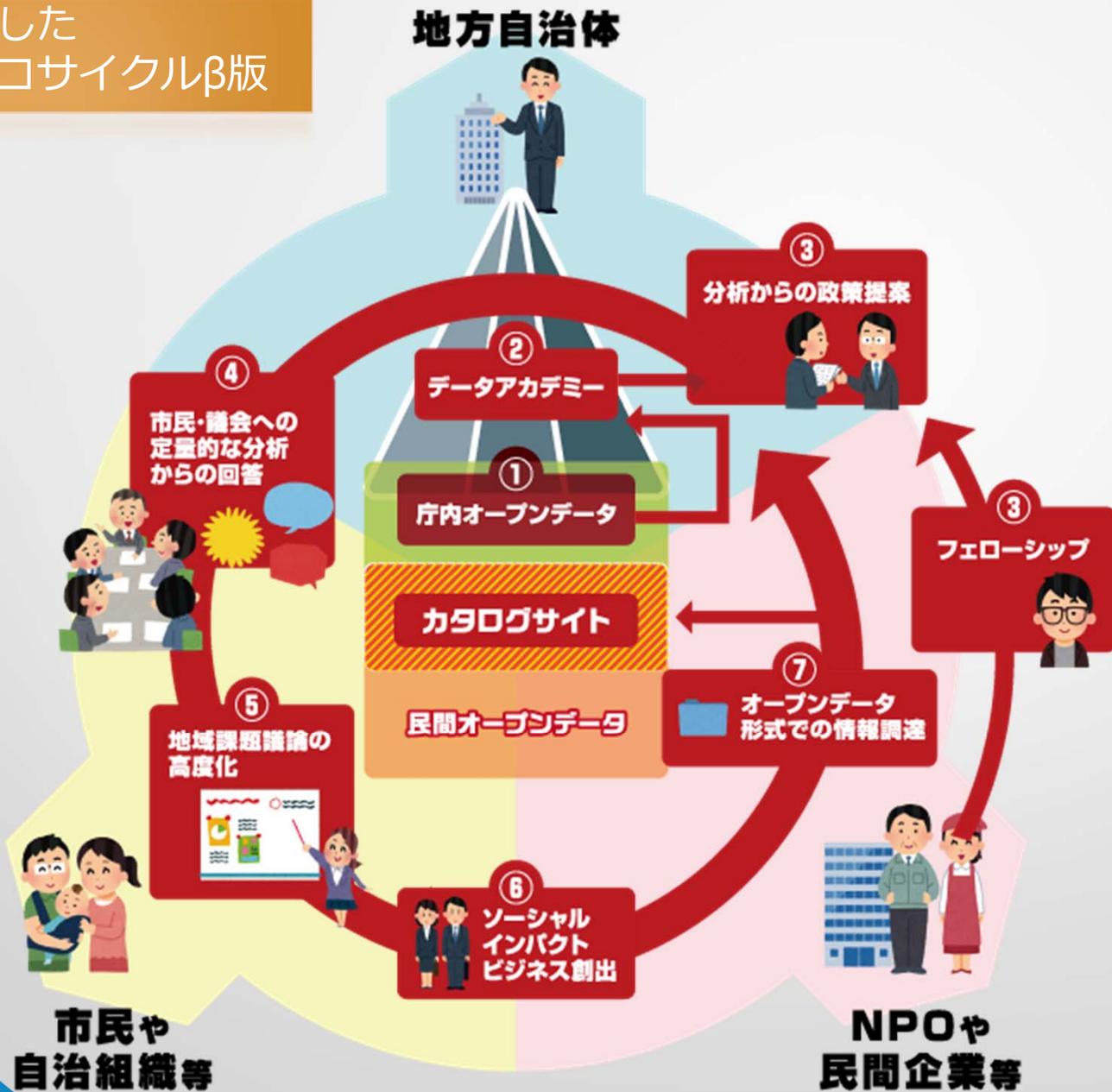
【課題】

- 部局、課をまたぐデータの利用の依頼にかかるいろいろな壁
- 借りたのはいいが、データとして扱えるようにする労力が多い
- 情報（データ）の質・量がたりない
- 元データがなくなっている／担当者がいない
- データアカデミーの成果から業務革新への壁

【今後整備すべきこと】

- データを借りるための調整の壁の消滅（市長命令？）
- データアカデミーを受講したら、情報調査・調達時のデータの質向上
- 内部メンター（庁内情報・調整のうまい課長以上が望まし
- オープンデータ地域活性エコサイクルの構築、普及

データ活用した
地域活性エコサイクルβ版



ソーシャルインパクトビジネス創出 ～参考：ソーシャルインパクトボンド～

SIBの仕組み

①投資家がサービス提供者に事業資金を提供

投資家がサービス提供者にサービスを提供するための事業資金を提供します。

②サービス提供者がサービスを提供

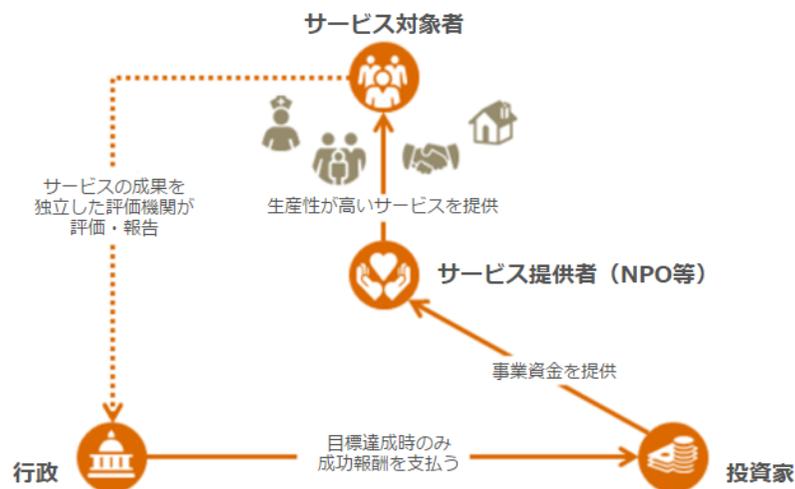
サービス提供者がサービス対象者に対して、その専門性とノウハウを活用した様々なサービスを提供します。

③サービスの成果を独立した評価機関が評価

サービス提供者が提供するサービスの成果について、独立した評価機関が予め設定された成果指標とその測定方法に基づき評価します。

④成果目標を達成した場合のみ、行政が投資家に成功報酬を償還

予め設定した成果目標を達成した場合のみ、行政が投資家に利子を付けて成功報酬を支払います。成果目標を達成しなかった場合、行政は支払う必要はありません



ご清聴ありがとうございました

質問等ありましたら
お気軽にアクセスしてください



www.facebook.com/budo.brickworks



sakakibara@rictlab.jp